

なびい通信

<6.7月号> No.171 2019年6月1日発行
発行責任者 なびい施設長 伊藤 祐子

【住所】 〒186-0003
国立市富士見台 2-8-7
ラフォーレ国立Ⅲ 101号
地域活動支援センター なびい
Tel (042) 571-3103
Fax (042) 505-6763

5月のさわやかな日に原稿を書いています、6月は少し雨の日も多くなっているかと思えます。夏ももうそこまで。抜けるような青空を思い浮かべながら、この時期を乗り切りましょう。

プログラム	日程	時間/会場	
お楽しみ会  屋内イベント開催中のフリースペースは閉所となります よろしくお願ひします	ぜひ顔を出してください♪ 送別お楽しみ会 6月22日(土) 14:00~16:00 ピアス2F 参加費: 400円(お菓子と飲み物を用意します) *演奏や歌、コント、朗読など、出し物大歓迎です。楽しくやりましょう。 *申し込みは、6月20日(木)まで これもお待ちしています♪ 歓迎のお茶会 7月20日(土) 14:00~15:30 なびい 参加費: 250円(お菓子と飲み物を用意します) *新しい職員を囲んでおしゃべりします。ぜひいらしてください。 *お申し込みは、7月18日(金)まで		
ウォーキング 月2回 水曜日	・6/12(水) 矢川 ・6/26(水) 国立 ・7/10(水) 矢川 ・7/24(水) 国立	14:00~ 15:00 /駅集合	参加費無料、飲み物持参 *東海道を歩くことに 換算して楽しんでいます。 30,000歩以上で表彰式!
ヨガ教室 月1回 木曜日	・6/27(木) ・7/25(木)	13:30~15:00 /福祉会館・和室(大) <u>会場が変更になりました</u>	参加費 100円 着替え・飲み物 *終わったあと、講師を囲んでお茶を楽しんでいます。
和食の会 月3回 金曜日	6月 ・7(金)・14(金)・28(金) 7月 ・5(金)・12(金)・26(金)	11:00~ 13:00 /なびい	参加費 250円 *参加してみたい方は、 スタッフにご相談ください
デイサービス 月2回 水曜日	・6/5(水)・6/19(水) ・7/3(水)・7/17(水)	時間や内容はミーティングで決めて、 参加者の方にお知らせを送ります。 *参加したい方は、スタッフにご相談ください	
閉所日 ご不便をおかけします	・6/7(金) 12:30 閉所 全体職員会議のため ・6/29(土) 13:00 閉所 出版パーティー ・7/26(金) 14:30 閉所 Iと合同職員会議のため		



特集 多摩棕櫚亭協会が本を出版！ 小林理事長にインタビュー

令和という新しい時代が始まった記念すべきこの5月、
多摩棕櫚亭協会は一冊の本を世に出しました。


【精神障害のある人の就労定着支援

～当事者の希望からうまれた技法～】 中央法規出版

天野聖子前理事長の文章を中心に、本部も文章を寄せています。
今回は、執筆者の一人である小林由美子理事長に、この本の魅力
に迫るべく！なびい通信編集部が突撃取材しました。

今回の編集部員は、さちさん、とみいさん、さくらさんです。




さくら 「この本を出すことになったきっかけと紹介をお願いします」 

小林理事長 天野さんは、棕櫚亭をつくる以前の15年あまり、ワーカーとして勤めていた病院時代のことを本にしたいと思っていました。今から30年以上も前のその閉鎖的な体質を後世に伝えておかなければ、という強い気持ちと、その年月が現在の棕櫚亭の礎を作ったという思いがあったからです。その思いは、中央法規出版の編集者と出会うことで実現されました。この本は3部で構成されています。特に読んで欲しいのは第2部です。そこには、天野さんが大学を卒業して初めて就職した病院での経験から、棕櫚亭で30周年を迎え、現在に至るまでのことが書かれています。第1部では現役職員による就労支援の方法が書かれています。第3部ではどうやって人材を育成し組織をつくり、その理念をあとに続く職員に伝えていったか、その方法が書かれています。この本の特色は、3つの異なる読み物が合体しているということと、どの部から読んでもらっても繋がっている点です。福祉業界にあって、組織を継承して発展させていくことはとても難しいことですが、重要なことです。棕櫚亭で大切にしてきた理念が、この本がたくさんの人に読まれることで広がっていくことを願っています。

とみい 「どんな人にこの本を読んでほしいですか？」 

小林理事長 まずは、職員とその関係者、そしてもちろん当事者の方々と家族。障害について学ぶ学生達。そしてドクター。最近では、あらゆる場所や場面で障害をもつ人たちへのサポートは広がり続けていると思います。この「広がり」はとても重要であり、大切な役割があります。たくさんの関連本がある中で、この本との出会いが何を意味するのか、自分たちそれぞれがどのように考えて行動するべきなのかというヒントを得るきっかけにもなります。生活をしている私たち自身も含まれるので、この本の知識や情報をたくさんの人や場所へ広げていけるように協力し合えるどんな人にも読んでもらいたいと思います。

さち 「最後にメッセージをお願いします。」 

小林理事長 精神障害者福祉、地域支援や就労やグループホーム、といったもの、それはまさに平成という時代に動いたのです。でもその礎は、昭和時代の福祉関係職員の格闘から始まったのです。その格闘の歴史と今の棕櫚亭が何を大切にしているかを感じてもらえたらと思います。スタッフだけが作ってきたのではなく、メンバーさん達が教えてくれたのだと思います。天野さんも作業所のメンバーの声を大事にしました。副題である「当事者の希望からうまれた技法」はまさにそのことを言っています。職員もメンバーさんも、これまでやってきたことのバトンを、また次の人たちに伝えていただけるとありがたいです。

・・・いかがでしたでしょうか。本のタイトルには「就労」の文字がありますが、就労を含めた生

きる営み全体を支援していくときになにを大切にしていかが書かれています。みなさんそれぞれが、自分を支えてくれる人に読んでほしいと伝えていただければとてもうれしく思います。そしてそのことによってまたみなさんにもいいものが返ってくる、そんな相互作用が生まれることを願っています。 ~1冊税込み2,200円です。どうぞなびいまで声をおかけくださいm(_)_m~

荒木 浩(あらかし・ひろし) ピアスからなびい施設長へ

新しい職員のご紹介

こんにちは。ピアスからなびいに3年ぶりに戻ってくることになりました。

はじめましての方もいらっしゃると思うので少し自己紹介をさせていただきます。

福岡県出身で、あと、3カ月弱で50歳に突入します。九州出身とはいえ、これまでの人生の2/3近くを東京で過ごしているので、癖の強い北九州弁ができることはほとんどありません。とは言え、自分自身に癖がないかという、どちらかという強めにあると思っています。例えば、仕事はともかくも、とにかくめんどくさがりで未だに携帯端末を持っていません。持っていればそれなりに便利なかもしれませんが、過去3カ月ほど持った時も反応するのが億劫で、すぐに解約してしまいました。基本的に自由でいたいという思いが強すぎるのです。

ただ、この精神保健の世界に30年以上いるので、コミュニケーションが嫌いかというそんなことはないと思います。むしろ逆に自分なりの方法で楽しんでやっているつもりです。例えば、今年の秋にラグビーワールドカップが日本で開催されますが、ボランティアとして参加することになっています。全くラグビーの経験もなく、ルールもいまいちよく解っていないところもあるのですが、面識のない方との一期一会の出会いだとか協同作業は楽しいものがあります。事前研修などがあるのですが、その前日などは自分で申し込んでおきながらも憂鬱になったりするのもお決まりのパターンとなっています。そういった諸々の感情も含めて、新しい世界に飛び込んでいくのが好きです。

こういう風を書いてしまうと、仕事と一見無関係な話をしているように思われるかもしれませんが、ピアス(就労訓練事業)に新しく入ってくるメンバーさんの緊張感と期待の入りまじった感情などは、こういった活動の中で、より深く理解できるようになったと思います。この文章を読みながら、なびいに始めてきたときの緊張感や期待感を思い出した方もいるのではないかと思います。いかがでしょうか。いずれにしても、自分も含めてコミュニケーションの取り方や癖は百人百様だと思うし、そのありようをこれからもなびいで大切にしたいと思っています。あらためて皆さん、よろしくお願いします。

森園 寿世(もりその・ひさよ) オープナーからなびいへ

10年振りの異動で、なびいにまいります。アウトドアで過ごすのが大好きです。夏はキャンプで山に向かい、冬はスキーで山に向かう。山好き! ?というわけでもないのですが、山の景色が好きです。温泉も大好きです。生活をしていくうえで、気分転換やリフレッシュは必要不可欠! 思い切り切り換えたい時には、私は、山か温泉を選ぶ傾向があるようです(^-^);

そう言えば、今回の異動で、『なびい』の名前を皆で考えた時の事を思い出しました。相談に来られる方にとって、『ナビゲーションの役割を担えるような』生活支援センターであると良いとの思いから提案した、と名付けスタッフは語っていました。

私も、相談に来られた方々と、その道のりを一緒に考えていけるようお手伝いをしたいと思っています。これからどうぞよろしくお願い致します! m(_)_m

お知らせ

きたる4月13日(土)恒例のチャリティフリマを行いました。お天気に恵まれて…と書きたいところですが、どうやらあまりにお天気に恵まれすぎると、なんとなく人通りが少ないような?! とつぶやきながらも、今回も協力してくれたメンバーさんとスタッフで、準備、売り子、片づけまでみんな汗をかきました。8,970円の売り上げは、前回と同じく東日本への復興支援金に寄付させていただきます。ありがとうございました。